

# 全国一般全国協

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 遠藤 一郎

東京都港区新橋3-21-7 松本ビル

TEL 03-3434-1236

FAX 03-3433-0334

## 全国キャラバン総括と 今後の労働基準法改悪反対闘争

全国一般労働組合全国協議会

書記長 遠藤 一郎



▲ 4.22 労基法改悪 NO! 大集会

### 労基法改悪 全国キャラバンの成功!



沖繩を三月三十一日、札幌を四月二日に出発し、四国コースを入れ、四十都道府県をつないで、四月二日東京での集約集会の四千名の大結集まで、全国一般全国協が今春闘の最大の課題として取り組んだ全国キャラバンは大成功を勝ち取った。

今回のキャラバンの成功のポイント、労働基準法改悪、派遣法改悪で一番犠牲を被る労働者、パート、

派遣、有期雇用労働者、女性労働者が直接声を上げ、行動を起こし、このよびかけに呼ばれて全国組織網をもった幾つかの組合が、これを下ざさえたこと。均等法ネット、パート研究会、派遣ネット有期雇用労働者権利ネットという4ネットが呼びかけになったことにより、各地区で既存のナショナルセンターを越えた多様な取り組みが可能となったこと。「労基法改悪NO!」のプラカードをショッキングピンクでデザインしてくれた全統一光輪モーターズ分会を先頭とした若い労働者が登場し、力を発揮したこと。労働基準法改悪という全労働者が注目する具体的な課題をもって、全国運動が呼びかけられたこと、だった。このような、全国各地に多様な形で存続し自力で闘い続けていた地区共闘を横につなぎ、全国闘争を呼びかける装置は、総評解散以降無かった。

### 廃案に向け

#### 更に闘いの強化を

政府自民党は、キャラバンの成功をはじめ労働団体全ての反対の声が高まる中、危機感を強め、国会審議を急ピッチで進め、国会会場で一気に成立を図ろうとした。しかし、労働者の声に押されて継続審議となった。再

び、参議員選後、夏の臨時国会で審議が再開される。国会に向けた闘争を全国から攻め上り強化すると同時に、全国各地で職場からの反撃、抗議の集会などを強化しよう。

### 反失業闘争、パート、派遣、有期雇用労働者を始めとする未組織労働者の組織化に全力で取り組もう

しかし、今回の闘いで学んだ、基準法改悪でもっとも犠牲を被る労働者が増大しており、その当事者が鋭い声を上げ始めていることの重要性をしっかりと捉らえ、その組織化に全力で取り組もう。この間の闘いの成果を活かし、職場、現場からの反撃を準備しよう。

### 地区共闘の全国結合を

#### 追求しよう

今回の闘いの教訓にある、各地区共闘の頑張りや横につなげていくことの重要性を実践できる可能性の一端を我々全国一般全国協はもっている。今回のキャラバンの出会いを大切に、地区共闘の全国連絡網を着実に作る所から、この事業に貢献して行こう。

全国キャラバン行動  
北から南から  
労基法改悪NO!

**宮城発**  
**労働基準法改悪**  
**宮城行動 4/7**  
**NO!**

十二時三十分より県庁前で街頭宣伝、チラシまきに四十名が結集した。二手に別れて、県庁記者クラブでの記者会見、労働委員会への申入れ行動にとりくみ、その後労働基準監督署へ要請行動を行なった。労基署では監督課長が対応、「労働者のニーズ、充

分な歯止め」と公式的発言に終始したが、キャラバン隊と宮城行動隊は再度市役所前で街頭宣伝、その後勾当台公園で集会、二百五十人で市内をデモした。集会、デモは教員組合、宮城交通、全労働も代表参加し成功だった。

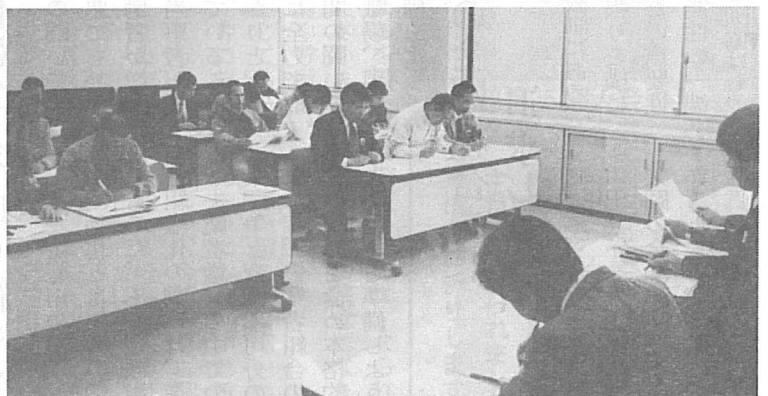


**栃木発**  
**労働基準法改悪**  
**栃木行動 4/16**  
**NO!**

昼間は宇都宮地区労を中心に、七時三十分よりJR宇都宮駅西口、東口、東武

宇都宮駅と三ヶ所で十三組合三十名が参加しての街頭宣伝とビラ配布を行なった。十時より労働基準局交渉、局長に代わり監督課長が出席し、事前提出の要請書に回答した。十三時より宇都宮市長、十四時より知事への要請書も提出。十五時より宇都宮市内から壬生町、栃木市大平町、岩舟町、佐野市へ街宣をし、夜は十八時より佐野地区労主催の労基法改悪反対集会と、全一

日行動を終了し群馬へと引き継いだ。栃木では、地区春闘の学習会(2/19)模範交渉(4/7)県政クラブでの記者会見(4/10)と、行動を積み重ねており、これからも九八地区春闘の大きな柱と位置づけ行動し、来年からの基準局交渉へと結びつけていきたい。



▲ 4.13 栃木行動



▲ 4.17 京都行動

**京都発**  
**労働基準法改悪**  
**京都行動 4/17**  
**NO!**

京都では、全国キャラバンを受け入れるために三月末から京都実行委員会が呼びかけられ、四月九日には実行委員会主催で学習会(約百名)を開催した。四月十七日は、早朝から、約一時間の街宣が行なわれ、京都の町並みを街宣車が駆け巡り労基法改悪反対を訴

えた。昼、京都駅前で大阪からのキャラバンを迎え、宣伝カー五台を連ねての引き継ぎの集会。その後京都労働基準局に申入れを行なった。再び街宣へ。夕方は、円山野外音楽堂で全国キャラバン京都実行委員会と京都総評、京都春闘共闘、労働法制改悪反対京都連絡会



自由法曹団との実行委員会主催による労働法制改悪反対四・一七全京都大デモンストレーションの集会が持たれた。集会には、各労組の組合旗が林立する中「京都府選出の労働大臣である伊吹文明を罷免しよう」という決議や、労働法制の改

悪にゼネストで闘った韓国民主労総の二名の力強い発言などで千五百人を超える参加者は改めて労働基準法改悪に対する闘いの決意を固め、繁華街を通り京都市役所までの長蛇のデモが行なわれた。

## 発 徳島 労働基準法改悪 徳島行動 4/14

全国キャラバンの徳島行動は、四月十四日早朝、愛媛・高知・香川と回ってきたキャラバン隊の到着を待ち、徳島駅前での情宣・ピラマキに始まり、労働基準

局交渉、徳島県商工労働部との交渉、夜は屋内集会を行なった。翌日、明石大橋をわたり四国全県からの労働基準法改悪NO!の声を神戸の仲間へとつなげていった。

## 発 長崎 労働基準法改悪 長崎行動 4/7

四月七日長崎入りしたキャラバン一行は、早速長崎地区労働傘下の衛公労の昼休みの集会に招かれてアピールしたあと、十四時から、長崎地区中小共闘の蜂須賀議長らとともに長崎労基局交渉、申入れ書を手渡した。

催の「九八春闘勝利・労働基準法改悪NO!全国キャラバン受入れ集会」であいさつ、結集した三百名の中小共闘の仲間とともに街頭デモをした。

夕方には、同中小共闘主



▲ 4.14 徳島行動

### 不況期の春闘

自分だけがしんどいんじゃない。みんな闘っている。

金属一般中金支部

三月上旬に賃上げ・夏期一時金の春闘要求を出して交渉を進めているが、五月の連休が過ぎた現在も未だに解決に至っていない。

会社が回答を出す力を持っていないというのが現実だろう。数年続いた赤字経営、借金をしようとしても銀行が貸してくれない。会社も組合も背水の陣か？

組合員に敗北感はないが、不安やいらだちはある。ローンをどうしよう、いつまで

の枠を越えて行なわれている。しんどいのは自分の職場だけではないのだ、という妙な自信のようなものが湧いてくる。

はいかなくなっていることだけは確かだよ。仕事にも、生活にも、運動にも、工夫が必要になってきているように思う。

### 不況期の春闘

#### 希望退職、賃金凍結、一時金ダウンの提案

宮城合同労組レナウンルック支部

組織関係の業績低迷、取り分けアパレル関係の売上低迷の中で、会社から二月末合理化提案が為された。全社的に二百名(十六%)の希望退職をつのる、退職加算金三十六ヵ月(家族手当支給者以外は二十四ヵ月)支給、賃金引き上げの見送り、年間一時金大幅ダウン、社員旅行の中止という厳しいものだった。

しかし、あくまでも希望退職であり、本人意思を尊重する、賃金凍結と言っても定期昇給分(今まで明示なし)は保障する(三千五百円獲得、年間一時金を二・二ヵ月支給すると言う最低限の歯止めを掛けて妥結した。

こし目を地域や日本全体、世界に広げてみよう。地域には同じような職場がいくつもある。失業率は三・九%、若年失業率は十%。韓国では国が破産しかけた。インドネシアでは暴動が起きている。ヨーロッパでは反失業の闘いが国家

をどうしよう、いつまで

ここ数年売上の前年割れが続き、十二月決算で大幅赤字が計上され、再建策を同時に発表しなければならぬというなかで、新聞発表直前に組合に通告された。組合は、今まで人には手を付けずに不況を乗切ろうと言ってきた会社の態度の豹変を追求、一年で一気に

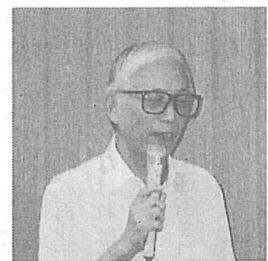
八十名いた組合が六十名弱になってしまいが、職場の権利、労働条件を守りながら、新規採用が出来る工場に行きたくために頑張っ



## 沖縄の闘いは前進。 「本土」の闘いもこれに応えよう!

五月一七日、沖縄では米海兵隊の普天間基地を一万六千名の労働者・市民が包囲し、即時全面返還を求め「人間の鎖」を成功させました。南部全労協や都職労とともに全国協の自立労働者連帯もアジア共同行動の仲間とこれを行いました。その前日には海上ヘリ基地建設を阻止している名護住民との交流や、韓国・沖縄を結ぶ班基地集会に参加しました。安保と基地の被害が集中する沖縄は、海上ヘリ基地建設を受け入れないなら普天間基地返還を凍結

するという政府の恫喝と真向から対決し、心底から怒っています。  
インドネシアの「邦人救出」に自衛隊を出動させるなど、政府はアジアへの軍事支配を策動しています。六月十二日、東京・南部労働会館のアジア共同行動集会をスタートに各地で韓国の友人を招請し、新ガイドライン関連法一有事立法策動を許さない集会が行なわれます。沖縄やアジアと連帯し、反戦平和の闘いを各地で進めましょう。



佐野明さん(享年72歳)逝く

佐野さんは私たちを最後まで心配してくださいました。中小企業に働く労働者の苦衷を肌身で感じておられた佐野さんは、今こそ労働組合がしっかりしなければならぬという何を何度私たちに説いてくださいました。中小労働運動に一生を捧げられた佐野さんは私たちが全国一般全国協議会を旗揚げした時に、真っ先に駆けつけて喜んでくださいました。

新時代の日本の経営が言われ、規制緩和が労働法制の改悪へと進む中、中小労働者の闘いの理論をさらに磨き、運動を作らなければならぬと力説されてきました。賃金論の再構築のために「研究会を一緒にやろう」と言われ、また労働法制改悪反対の闘いに情熱を燃やしておられました。その道半ばでなくなられたことが本当に残念でなりません。

思い起こせば、いつもは穏やかにお話しされる佐野さんが、今年一月に開かれた私たちの各県代表者会議に出席していただいた折、珍しく激しい口調で日本労働運動、全労協、そして私たちを叱咤激励されたことを思い起こします。何か予感があったのでしょうか。

佐野さん、私たちのこの後の闘いを見守っていただくことができなくなってしまうと、心から残念に思います。私たちは佐野さんの遺志をしっかりと受け継ぎ、中小労働者の仲間と共に歩みます。

佐野さん安らかに眠ってください。

全国一般労働組合

全国協議会

## 脱税／暴力社長と対決！ 平均年齢23歳、勝利の争議解決です。

全統一労働組合三伸機材分会

一九九四年六月に組合を結成してから約四年、私たち三伸機材分会の闘いは今年三月に急転直下、解決に至りました。会社側から組合に対し、和解の提案がなされたのです。私たちは決断を迫られました。その中には全統一をはじめ、東部全労協、荒川区労評、全国一般なんぶ、そして三伸機材分会支援共闘会議などを通じて多くの方々の支援

をいただいているにもかかわらず、全員退職という形で終わっていいのかという迷いもありました。しかし岡田社長の(脱税での)収監後、三伸機材が成り立っていきけるのか、さらに岡田社長が再び三伸機材に戻ってきたときに、果たして普通の労使関係が創り上げられるのかなど考えていくときに、明るい展望が見えないという結論に達し、私

たちは和解提案を受け入れませんでした。しかし、私たちは勝利したと確信しています。なぜなら、今まで何度となく組合の要求を無視し、組合員いじめに徹し、実力行使で辞めさせることだけに終始してきた従来の岡田社長や会社のやり方では考えられない、会社からの和解提案を引き出すことができたからです。そこまでして組合

員を辞めさせたいと思わせたのは、様々なイヤガラセに耐え、会社に居続けた組合員に屈し、また、何度となく行なわれる抗議行動に耐えきれなかったからだと思えます。私たちが会社に居続けられたのは、多くの支援の人に支えられたこと、また、それらを通じて自分たちのやっていることの正当性を信じられたからです。今まで様々な形で、多くの方々にご支援をいただくことができ、本当にありがとうございました。